

日露戦争／日本とロシアのつながり／ 中心発問「日露戦争後、日本人はロシア人のことをどう思っていたと思う？」

6学年／国力の充実を目指す日本と国際社会／学習指導要領コード
822026321A000000

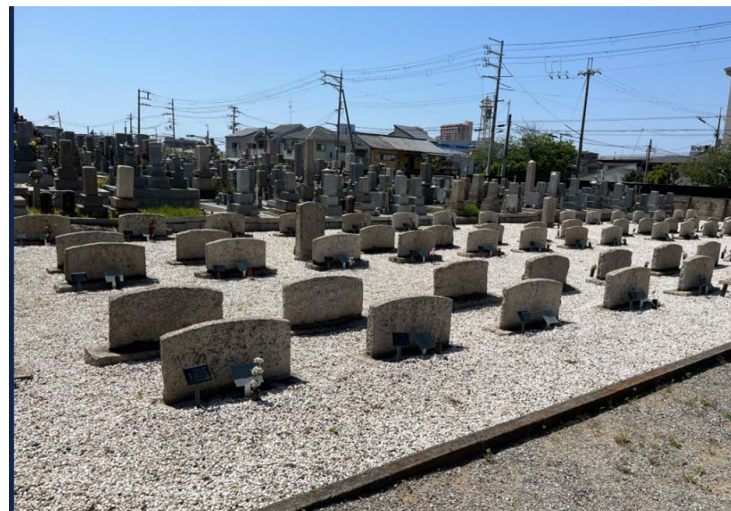
<https://jp-cos.github.io/822/026321A000000#gsc.tab=0>

<https://jp-cos.github.io/822/0265233900000#gsc.tab=0>

<https://jp-cos.github.io/822/0265234000000#gsc.tab=0>



泉大津市ORIAMデジタルヒストリー市内画像「ロシア兵墓地」(昭和44年)より



現在のロシア兵墓地（令和5年撮影）

日本人はロシア人のことをどう思っていたのだろうか？



日露戦争当時の
年賀状

日本人はロシア人を捕虜にして、どのように関わっていたのだろうか？

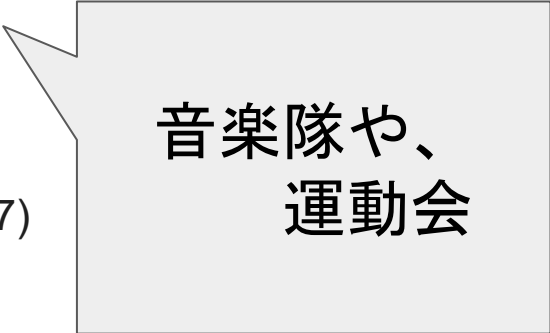
- ロシア人捕虜収容所のようすを、写真で見よう●

<堺市立図書館地域資料デジタルアーカイブ>

https://e-library.gprime.jp/lib_city_sakai/da/result?qf=&q=%E5%8F%8E%E5%AE%B9%E6%89%80&start=5&sort=METADATA_ID+asc&tilcod=0000000013-S0010231&dispStyle=&mode=result&category=

<参考資料>

『濱寺ロシア人俘虜収容所資料集』高石市教育委員会 (2007)



音楽隊や、
運動会

日露戦争後、日本人はロシア人のことをどう思っていたと思う？



泉大津市ORIAMデジタルヒストリー市内画像「ロシア兵墓地」(昭和44年)

<https://adeac.jp/izumiotsu-city-oriam-history/viewer/mp03001560/P55-1/>

【泉大津】ロシア兵の墓

泉大津、小るさと文化遺産

ロシア兵墓地

平成十六年三月認定「認定第一号」

日露戦争の開戦により、明治三十七年(一九〇四)十一月、多数のロシア兵捕虜のうち約三万人が、堺市浜寺の海岸の仮設キャンプに収容されました。翌、明治三十八年(一九〇五)、高石に捕虜収容所が建設され、そこで八十九名の兵士が死亡しましたが、彼らの冥福を祈るため、隣接する泉大津の住民がみずからの墓地のうち六〇〇㎡を提供し、ロシア兵の墓地が造られました。

墓石は八十九墓あり、兵士の宗教を表す紋、所属部隊名と、その下に自国語と片仮名で名前が刻まれています。中央には、当時のロシア政府が建設した五陵の石造慰霊碑が建っています。

慰霊碑の下部には、兵士それぞれの自国語であるロシア語、アラビア語・ドイツ語・ポーランド語・ヘブライ語の五ヶ国語の文字で「魂よ、安らかなれを意味する言葉が、また上部にはロシア語で「死せるロシアの戦士たちへ、旅順港の戦友より一九〇五年」と刻まれています。この慰霊碑の東側には、捕虜収容所長の漢文による墓地建設由来を刻んだ石造記念碑が建っています。

時折、兵士の母国の人々が墓参に訪れますが、墓地は、地元の有志による清掃活動によって、美しく保たれています。

「泉大津、小るさと文化遺産」とは、市内の歴史遺産や文化財等のうち重要なものを泉大津市文化財保護委員会が認定し、顕彰するものです。